



- 1~7 各クラスが趣向を凝らした出し物やお店を開きました！他の学年同士での交流もたくさん見られた
- 8 ばえる!?エモい!?モロッコの青い街シャウエンを彷彿とさせる「青い校舎」も自慢！
- 9 「どうやったら密にならずみんなで楽しめるかな」工夫できる方法を代表委員会で話し合った
- 10 「あかしあ笑顔いっぱいフェスティバル」の企画を行った計画委員・代表委員の5・6年生

想う優しさ、あふれる笑顔



あかしあ台小学校

先に開校していたたすずかけ台小学校から分離し、平成2年にウッディタウンで2番目に開校したあかしあ台小学校。開校時526人だった児童数は1時千人を超えたが、現在は540人と開校当時とほぼ同じ人数になった。

毎年恒例の学校行事「あかしあ笑顔いっぱいフェスティバル」が昨年11月に開催された。フェスティバル全体の企画を担った計画委員・代表委員5・6年生の皆さんに学校の自慢を聞いた。

代表が集まって話し合いました。「一度に入れる人数を制限する定員制にしよう」「1クラスで2つ以上の出し物をしたら密にならないかな?」「あらかじめ順序を決めておくと混雑しなくていいね」とたくさん意見を出し合いました。他の学年とも交流できるよう「1年生と6年生」「2年生と5年生」「3年生と4年生」がそれぞれの学年のクラスのお店を行き来できるようにしました。

あかしあ台小学校のみんなは、友達のことを思いやる優しい人ばかりなのが自慢です!元気があって、仲が良く、個性があふれています。「あかしあ笑顔いっぱいフェスティバル」では、1年生から6年生まで各クラスが出し物やお店を準備しました。

密にならず「楽しめる」工夫を

今回大事にしたのは「違う学年とも一緒に楽しめるようにする」「できるだけごみがでないようにする」ということです。そして人数の多い学校なので、「密にならず楽しむためにどう工夫すればいいか」を3・6年生の

11月25日のフェスティバル当日、「いらっしやいませー」「5年2組おもしろいよー」「ジャンケン大魔王とじゃんけんしよう!」「みんなの元気な声と笑顔が飛び交いました。ペットボトルフリックやキャップパーリング、松ぼっくりや落ち葉の「あきのさくひんやさん」など、ごみを出さないように再利用できるものを使っていたり、同じゲームでも「簡単」と「難しい」を用意していたり、誰でも楽しめる工夫が考えられていて驚きました。

私たちが1年生だった時「6年生かっこいいな」と憧れていたけど、それと同じように今回私たちは上級生として学校全体を盛り上げることができたので、とても嬉しかったです!

消費生活情報



不用品の「訪問買い取り」にご注意!



【相談内容】「何でも買い取ります」と業者から電話勧誘があった。使わなくなったマッサージチェアの処分に困っていたので、来てもらうことにした。悪い業者であれば断りたいが、センターで業者について教えてもらえるか?

【回答・アドバイス】センターでは業者の信用性は答えられません。当日は複数人で対応し、買い取りを求めている商品を見せるように言われた時はきっぱりと断るようにしましょう。

【トラブルを防ぐポイント】

- ①突然訪問してきた購入業者を家に入れない。
- ②買い取りを承諾していない貴金属の売却を迫られたら、きっぱり断る。
- ③購入業者から交付された書面をしっかりと確認する。
- ④クーリング・オフ期間内(8日間)は、購入業者に物品の引き渡しを拒むことができます。
- ⑤不安な時やトラブルになった場合は下記へ相談してください。

三田市消費生活センター(559-5059 FAX 563-8001)
相談受付=月曜~金曜、第2・4土曜 10時~17時
休所の場合は「消費者ホットライン」188

防災・防犯・交通安全



3.11 東日本大震災から12年を迎えて

2011年3月11日、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0という国内観測史上最大規模の地震が発生し、巨大な津波は東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらしました。

突然遭遇する地震災害へ冷静に対処することは難しいかもしれませんが、しかし、二次災害への「減災」の取り組みとして、日頃から非常持ち出し袋の準備、最寄りの避難所の確認、家族や知人と避難行動を話し合うなど、地震後の行動を想定しておくことが大切です。さらに、冷静な行動には、情報を収集することが必要です。

市は、「市公式LINE」「さんだ防災・防犯メール」で緊急情報や被害状況の情報、避難生活にかかわる情報などを順次発信します。登録していない人は、この機会にぜひご登録ください。また、市HP防災サイトで減災への準備などについて掲載していますのでご活用ください。



問い合わせ=危機管理課(559-5057 FAX 559-1254)

共生



手話にチャレンジ! < Vol.21 > 「天気」の手話を学ぼう

今月は「天気」の手話です。手話は聞こえない人・聞こえにくい人とコミュニケーションを図るための第一歩。皆さんも一緒にやってみましょう!

問い合わせ=障害福祉課
(559-5075 FAX 562-1294)



動画では会話編など、実践的な使い方も紹介しています!



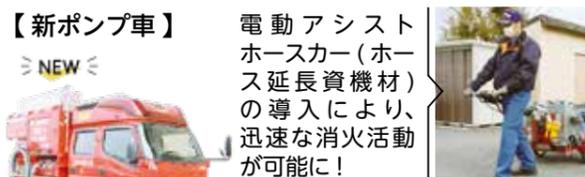
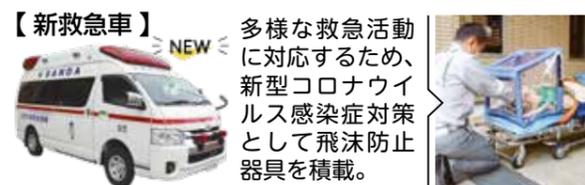
消防・救急・救命



新しいポンプ車・救急車が登場! 新車両の特徴を紹介します

消防署のポンプ車と救急車を更新。更新した車両を最大限に活用し、市民の安全・安心の確保に努めていきます。

新車両の特徴!



はしがが長くなり、建物の3階まで届くようになりました。

問い合わせ=消防本部警防課
(564-7306 FAX 563-1230)